

キャラクター名
穂村 昂 (ほむら あきら)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	夜来学園高等部学生
	サラマンダー					
オプション			年齢	15	性別	男
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	32	%
出自	50: 姉妹。妹	経験	50: 大成功	邂逅	36: 家族・強羅瑠璃	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	4r+2	6	lv+6		
燐光・天狼	白兵	15r+2		51		侵蝕率11、装甲無視、HP-3。セットアップ使用
THE NOVA	白兵	13r+2		71		侵蝕率15、同上、80制限
	白兵	15r+2		84		同上。100制限

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: 噂話					
コネ: ヒーロー					
ロイス		最大財産P:	4	残り財産P:	
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費	
永遠の炎	P	N			
"天才型の妹" 穂村 望	P	感服	N	無関心	
"ゴリラる……悪い噂んだ" 強羅瑠璃	P	親近感	N	脅威	
"詐欺に掛かりそう" 御手洗紬	P	友情	N	不安	
"大剣振り回せそうなロリ" 会沢憂姫	P	有為	N	疎外感	
	P		N		
	P		N		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
集中: 蜥蜴	2							
効果:								
エターナルブレイズ	5	4	セットアップ					
効果:	攻撃力+Lv*4、行動値-5。ラウンド継続							
炎神の怒り	5	3	メ/リ			肉体		
効果:	判定ダイス+Lv+1、HP3ロス。							
結合粉碎	5	4	メ			syndrome		
効果:	判定ダイス+Lv、装甲無視。							
氷の回廊	1	2	マイナー					
効果:	飛行で戦闘移動。距離に+Lv×2							
氷炎の剣	7	3	マイナー					
効果:	白兵武器作成							
炎の刃	7	2	メジャー			白兵射撃		
効果:	攻撃力+Lv*2							
クロスバースト	5	4	メジャ			シンドロ	80	
効果:	攻撃力+Lv*4							
地獄の氷炎	2	2	マイナー					
効果:	氷炎の剣の攻撃力orG値+Lv*2							
テーマナンバー	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「義を通し、正道から外れない。……こう言うが大仰だが、何、難しいことじゃない。子供でも分かる、『当たり前のやるべきこと』だよ。俺みたいな没個性は、当たり前のことを当たり前にするくらいしか能がなくてさ」

平々凡々な顔立ちをした夜来学園高等部に通う男子高校生。受ければ良いかなー、くらいの気持ちで受験したら本当に受かってしまい、周囲の誰よりも驚いていた。取り分け頭がいいわけでもなく、『一番上を目指せば取り敢えずどこかに入れるだろ』と思ったとのこと。全体的に緩くはあるが、やるべきことはきっちりやる性分。気が付いたら無遅刻無欠席達成とかそういうタイプの人間。

サラマンダーのピュアブリードであり、蒼い炎を纏った近接戦を得意とする。というかそれしか行えない。基本的に炎しか操れず、その炎も火力こそ高いものの精密動作に難があるので至近距離でしか存分に振るえないため。未だに自身の体ごと焼くあたり、まだまだ見習いである。うっかり焼かないため、年がら年中半袖のワイシャツで過ごしている。冬場は流石に少し寒い。覚醒は小学五年生時。当初は安定せず、右肩から背に掛けて火傷の痕が残っている。彼の半袖記録はここから始まった。